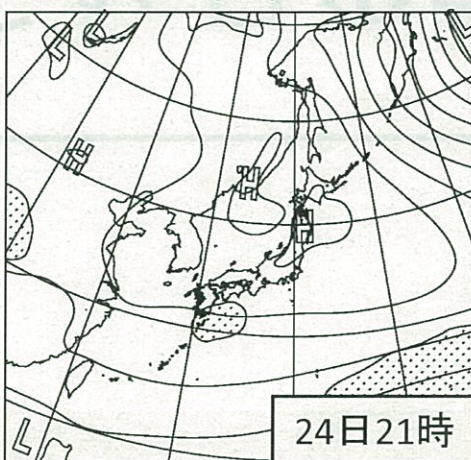
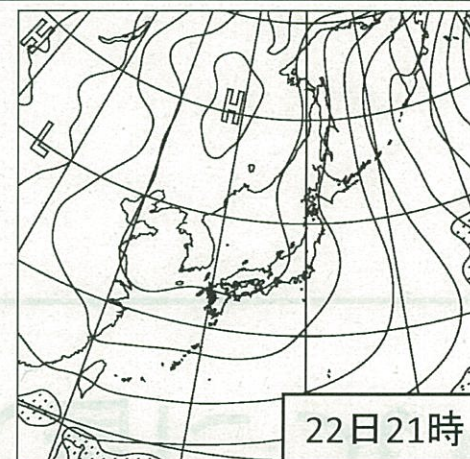
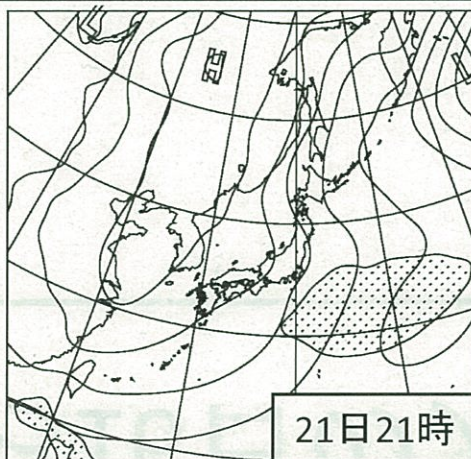
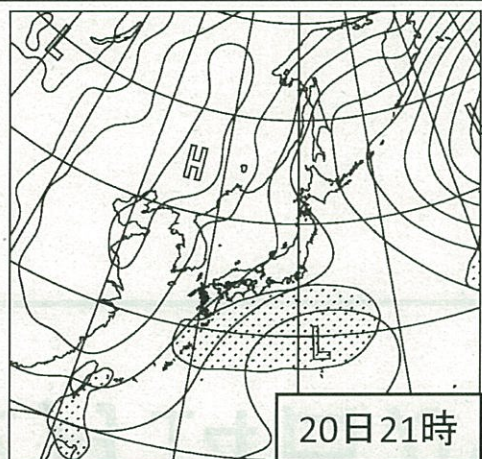

2月14日から16日の大雪について

平成26年2月18日
気象庁

今後1週間の天気の推移

- 24日までの天気は、北日本と、東日本や西日本の日本海側で雪の降る日が多い見込み。
特に18日は、北海道で局地的に猛吹雪となる所がある見込み。
- 西日本の太平洋側は18日から20日にかけて雪の降る所がある見込み。
- 東日本の太平洋側は20日頃、山沿いを中心に一時的に雪の降る所がある見込み。
- 積雪の多い地域では、なだれに注意。



：降水域

現在の雪の状況

■主要都市等の2月18日07時現在の積雪の深さと前日差

稚内 34 cm (-17 cm)
旭川 70 cm (0 cm)
札幌 91 cm (+12 cm)
網走 43 cm (-11 cm)
根室 47 cm (-5 cm)
帯広 36 cm (-14 cm)
函館 37 cm (-1 cm)

青森 69 cm (-3 cm)
八戸 45 cm (-5 cm)
横手 149 cm (+11 cm)
湯沢 112 cm (+6 cm)
宮古 32 cm (-2 cm)
新庄 146 cm (+21 cm)
山形 38 cm (-6 cm)

若松 37 cm (-8 cm)
長野 48 cm (-1 cm)
松本 48 cm (-3 cm)
飯田 37 cm (-6 cm)※
甲府 46 cm (-6 cm)※
高山 43 cm (-7 cm)
高田 59 cm (-3 cm)

那須 17 cm (-2 cm)※
宇都宮 5 cm (-3 cm)※
前橋 22 cm (-4 cm)※
熊谷 26 cm (-5 cm)※

※歴代1位の積雪深を更新した地点

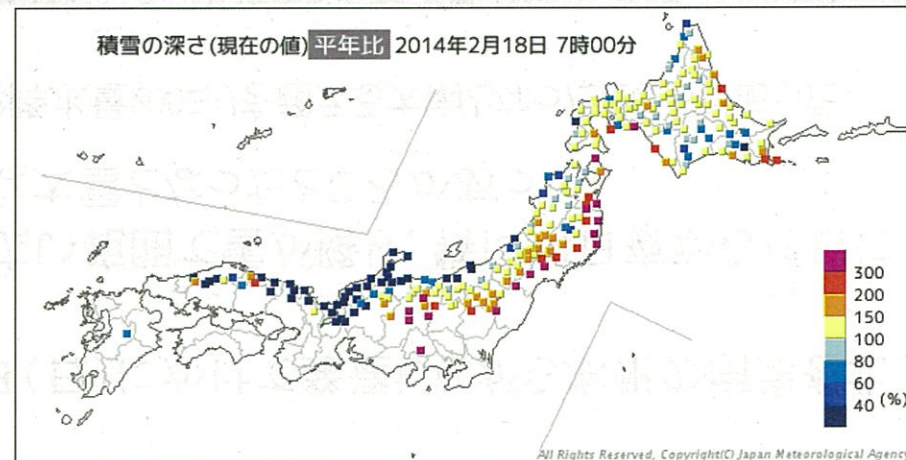
積雪の深さ

(気象庁アメダス)



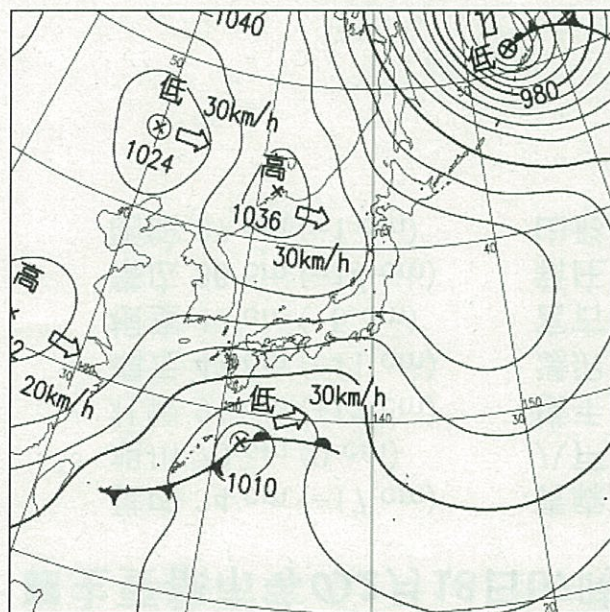
積雪の深さの平年比

(気象庁アメダス)

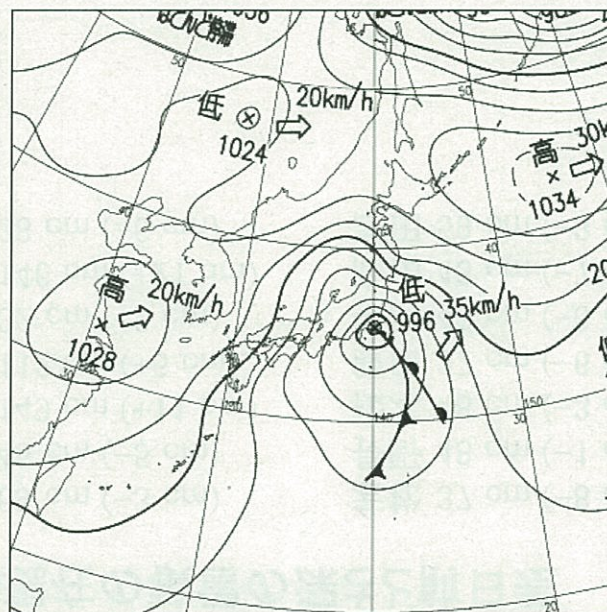


2月14日から16日の気象概況

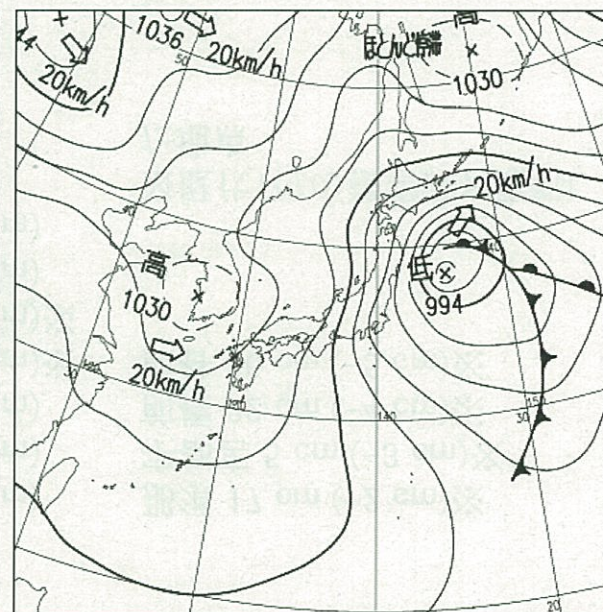
- 前線を伴った低気圧が、14日(金)から16日(日)にかけて発達しながら本州の南岸を北東へ進んだ。
- 西日本からと北日本の太平洋側を中心に広い範囲で雪が降り、特に14日夜から15日にかけて、関東甲信及び東北地方で記録的な大雪となったところがあった。
- ※ 14日から15日にかけて、千葉県や伊豆諸島では総降水量200ミリを超える大雨となったところがあった。



天気図 2月14日09時



天気図 2月15日09時



天気図 2月16日09時